

後期高齢者オーラルフレイル対策事業 事前説明会

地域保健部部員 中野 清風

令和元年8月5日に「後期高齢者オーラルフレイル対策事業」事前説明会が行われました。地域保健部員としては参加者が少なかったらと心配しましたが多くの歯科医師、衛生士、職員の方々にご参加いただき会場は独特の熱気につつまれました。

川下先生による説明の後、活発な議論が交わされました。その中で特に重要とされている部分を書かせていただきます。

当事業は後期高齢者健診を前年行った方に行われます。全員ではなくその中で選ばれた方約1700人が対象です。単純計算で市内の歯科医院一院に一人来るかどうかです。

何を行うかは事前に送付されていたマニュアルに詳しく記載してあります。

注意点として咀嚼能力、舌機能、嚥下機能等他の健診ではあまりみられない項目があります。そのやり方もマニュアルに詳しくありました。「フレイル・オーラルフレイル対策プログラム」の計画立案という難しそうなものがありますがこれは県歯HPよりダウンロードできる「オーラルフレイルパンフレット」に詳しく載っておりまして。ただそのことがほとんど書いてありませんのでこの点は周知徹底が必要だと思いました。全体として現時点の点数と内容に乖離があるのではと思いましたが今年から始まった事業であり、今後の高齢者への歯科治療へのアクセスとして重要なことであると認識しました。

今後自院にこの患者さんが来られたとき適切に行えるか心配ですがわからないことは歯科医師会、地域保健部の先生方と相談し行っていこうと考えています。

